

ブルドーザ 検査・整備基準値表



公益
社団法人

建設荷役車両安全技術協会

まえがき

車両系建設機械を有効に稼働させ、常に安全な状態に維持するためには、適正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

そのためには、チェック結果の良否の判断の基、及び整備作業の基となる基準が常に利用できる状態であることが大切で、各機械の検査・整備基準が業界に広く開示される必要があるとの観点から、平成10年から「検査・整備基準値表」を作成して検査・整備業界に提供し、今般C版を発行することとしました。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、国内で販売されている対象機種の商品を網羅することを基本方針として努力してまいりましたが、幸いにも大方のメーカーの賛同を得て、ここに代表機種の「検査・整備基準値」を出版する運びとなりました。

当協会の趣旨にご賛同くださり、編集員の派遣、原稿の提供等に快く応じてくださった各メーカー及び関連各位と当協会検査・整備技術委員会委員各位に対し、心よりお礼を申し上げます。

平成25年3月

公益社団法人建設荷役車両安全技術協会
会 長 吉 識 晴 夫

検査・整備基準値表の作成にご尽力いただいた方々は次のとおりです。

区 分	氏 名	所 属
委 員	東 清 幸 井 元 弘二郎	コ マ ツ キャタピラー・ジャパン (株)
事 務 局	片 井 康 隆 岡 部 明 夫	公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 公益社団法人建設荷役車両安全技術協会

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1. 「基準値表」の表示

- (1) 「基準値表」の表示はメーカーごと一括りにしてあります。
- (2) 同一メーカー内の表示は概ねミニ、小型、中型の 3 サイズに分類してあり、各サイズの巻末に検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のサイズごとに 2 ページ分の見開きで表示してあります。
左ページの左端に項目を表記し、同サイズの機械のモデル数が多くて収まりきれない場合には 2 ページの見開き単位で追加してあります。機械サイズごとに見開きに余白が出来ても、新モデルの追加記入を考慮して余白のままに残してあります。
- (4) 同一製品が OEM 供給元と OEM 供給先の双方で並行販売されている場合には、供給元と供給先の双方のモデル名でそれぞれに掲載してあります。

2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成 24 年 11 月末現在に日本国内において製造又は販売されているモデルに限定して、収録してあります。

この時点で製造又は販売を打ち切られているモデル、又はこの時点以降に新規に製造又は販売されたモデルは含んでおりません。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、日本国内市場で主要部分を占める、ミニ建機、小型建機、中型建機までを収録してあります。

3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

(1) 「メーカーの定める基準値」と表記してある項目

定期自主検査指針（平成 5 年 12 月付け公示 16 号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。

(2) 「新車基準値」の表記

「新車のみ適用される基準値」であることを特に表示する場合には、当該基準値の左肩上に*を付し、表の脚注に「新車基準値」である旨を表記してあります。

(3) 「単位」の表記

表内の単位の表記は、国際単位系である「SI 基本単位」を使用してあります。

ブル・ドーザ検査・整備基準値表

目 次

キャタピラージャパン (株)	D 3 K ~	2
コマツ	D 2 0 A - 8 E 0 ~	1 2

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D3K		D4K		D5K
		仕様		XL	LGP	XL	LGP	XL
		適用号機		FFF00001~	LLL00001~	MMM00001~	RRR00001~	WWW00001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドルリング	rpm	2650	2650	2650	2650	2650
		ローアイドルリング	rpm	950	950	950	950	950
		トルコンストール状態	rpm	—	—	—	—	—
		(冷却水温)	(°C)	(70~80)	(70~80)	(70~80)	(70~80)	(70~80)
	(作動油温)	(°C)	(80~90)	(80~90)	(80~90)	(80~90)	(80~90)	
	エンジン油圧	kgf/cm ²	2.9~	2.9~	2.9~	2.9~	2.9~	
	(油温)	KPa	280~	280~	280~	280~	280~	
	(回転速度)	(°C)	(60~70)	(60~70)	(60~70)	(60~70)	(60~70)	
	(rpm)	(rpm)	(2200)	(2200)	(2200)	(2200)	(2200)	
弁すき間								
吸気弁 スキ間	mm	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05		
排気弁 スキ間	mm	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05		
[測定条件]	[]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]		
気筒間圧縮圧力差	kg/cm ²	~3.6	~3.6	~3.6	~3.6	~3.6		
(冷却水温)	KPa	350	350	350	350	350		
(回転速度)	(°C)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
(rpm)	(rpm)	(250)	(250)	(250)	(250)	(250)		
燃 料 装 置	燃料装置	噴射ノズルの	kg/cm ²	184~	184~	184~	184~	184~
		燃料噴射開始圧力	KPa	18000~	18000~	18000~	18000~	18000~
冷 却 装 置	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	14~20	14~20	14~20	14~20	14~20
		測定位置・条件	kg	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2
		(kgとNの両方で表記)	N	110	110	110	110	110
動 力 伝 達 装 置	クラッチ又は インテグ ペダル	ペダル取り付け高さ	cm					
		ペダルの遊びのストローク	cm	—	—	—	—	—
		ペダルの全ストローク	cm					
	主クラッチ型	ブースタ油圧又は	kg/cm ²					
		クラッチシリンダ油圧	KPa	—	—	—	—	—
	流体継ぎ 手型	トルコン油圧	kg/cm ²					
		KPa	—	—	—	—	—	
ミッション潤滑油圧	kg/cm ²							
	KPa	—	—	—	—	—		
クラッチ油圧	kg/cm ²							
	KPa	—	—	—	—	—		
(ミッション油温)	(°C)	—	—	—	—	—		
(エンジン回転速度)	(rpm)	—	—	—	—	—		
プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm						
		N·m	—	—	—	—	—	
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ	レバー遊びのストローク	cm					
		レバーの全ストローク	cm	—	—	—	—	—
ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチ油圧	kg/cm ²							
(油温)	KPa	—	—	—	—	—		
(回転速度)	(°C)	—	—	—	—	—		
(rpm)	(rpm)	—	—	—	—	—		

D4K	D3K2		D4K2		D5K2			
LGP	XL	LGP	XL	LGP	XL	LGP		
JLF00001~	KLL00001~	KLL00001~	KMM00001~	KRR00001~	KWW00001~	KYY00001~		
検 査 基 準 値								
2650 950 — (70~80) (80~90)	2650 950 — (70~80) (80~90)	2650 950 — (70~80) (80~90)	2650 950 — (70~80) (80~90)	2650 950 — (70~80) (80~90)	2650 950 — (70~80) (80~90)	2650 950 — (70~80) (80~90)		
2.9~ 280~ (60~70) (2200)	2.9~ 280~ (60~70) (2200)	2.9~ 280~ (60~70) (2200)	2.9~ 280~ (60~70) (2200)	2.9~ 280~ (60~70) (2200)	2.9~ 280~ (60~70) (2200)	2.9~ 280~ (60~70) (2200)		
0.35±0.05 0.35±0.05 〔冷時〕	0.35±0.05 0.35±0.05 〔冷時〕	0.35±0.05 0.35±0.05 〔冷時〕	0.35±0.05 0.35±0.05 〔冷時〕	0.35±0.05 0.35±0.05 〔冷時〕	0.35±0.05 0.35±0.05 〔冷時〕	0.35±0.05 0.35±0.05 〔冷時〕		
~3.6 350 (—) (250)	~3.6 350 (—) (250)	~3.6 350 (—) (250)	~3.6 350 (—) (250)	~3.6 350 (—) (250)	~3.6 350 (—) (250)	~3.6 350 (—) (250)		
184~ 18000~	184~ 18000~	184~ 18000~	184~ 18000~	184~ 18000~	184~ 18000~	184~ 18000~		
14~20 11.2 110	14~20 11.2 110	14~20 11.2 110	14~20 11.2 110	14~20 11.2 110	14~20 11.2 110	14~20 11.2 110		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—		

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D3K		D4K		D5K	
		仕様		XL	LGP	XL	LGP	XL	
		適用号機		FFF00001～	LLL00001～	MMM00001～	RRR00001～	WWW00001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
		鉄シユール	張り(たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照	図2参照
			リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—
			履板取付けボルト 締付けトルク 測定方法・条件	kg・m N・m	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5以上	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブル・ドーザ	ブレードリフトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm
			ブレードチルトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯
			リップリフトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm
			リップシャンクシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	-mm/分	-mm/分	-mm/分	-mm/分	-mm/分
	ドーザ・ショベル	リフトアームシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—	
		バケットシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—	
	(作動油温)			(℃)	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65
	作業速度	ブル・ドーザ	ブレード上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大	2.2±0.3秒 地面～最大
			リップ上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大	1.3±0.2秒 地面～最大
		ドーザ・ショベル	リフトアームシリンダ上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	—	—	—	—
バケットチルトバック(又はダンプ) 作業装置姿勢 (図面番号表示)			秒	—	—	—	—	—	
(作動油温)			(℃)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm ² MPa (℃)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	

D5K	D3K2		D4K2		D5K2			
LGP	XL	LGP	XL	LGP	XL	LGP		
JLF00001～	KLL00001～	KLL00001～	KMM00001～	KRR00001～	KWW00001～	KYY00001～		
検 査 基 準 値								
—	—	—	—	—	—	—		
図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照	図 2 参照		
—	—	—	—	—	—	—		
9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め	9.2±2.0 kgmで 120±5° 増し締め		
勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 F2ハイアイ ドルで発進不可		
17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm	17mm/5分 地面から254mm		
33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯	33mm/5分 チルト左一杯		
6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm	6mm/5分 地面から254mm		
-mm/分	-mm/分	-mm/分	-mm/分	-mm/分	-mm/分	-mm/分		
			—	—				
38～65	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65		
2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大	2.2±0.3 秒 地面～最大		
1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大	1.3±0.2 秒 地面～最大		
			—	—				
38～65	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65	38～65		
211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)	211±9 20.7±0.9 (38～65)		

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D6N		D6N		D6K	
		仕様		DS-XL	DS-LGP	DS-XL	DS-LGP	HS-XL	
		適用号機		DJA00001~	DJY00001~	MLW00001~	GHS00001~	FBH	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度							
		ハイアイドルリング	rpm	2300±30	2300±30	2300±30	2300±30	2100±100	
		ローアイドルリング	rpm	850±10	850±10	850±10	850±10	750	
		トルコンストール状態	rpm	1975±100	1975±100	1975±100	1975±100	—	
		(冷却水温)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(作動油温)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		エンジン油圧	kg/cm ²	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	
		(油温)	KPa	315	315	315	315	315	
		(回転速度)	(℃)	(通常運転)	(通常運転)	(通常運転)	(通常運転)	(通常運転)	
			(rpm)	(最大回転)	(最大回転)	(最大回転)	(最大回転)	(最大回転)	
		弁すき間							
		吸気弁 スキ間	mm	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	
		排気弁 スキ間	mm	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	0.35±0.05	
		[測定条件]	[]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	
		圧縮圧力又は	kg/cm ²	~3.6	~3.6	~3.6	~3.6	~3.6	
		気筒間圧縮圧力差	KPa	~350	~350	~350	~350	~350	
		(冷却水温)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
		(回転速度)	(rpm)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	
ン	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力※	kg/cm ² KPa	714kgf 70Mpa	714kgf 70Mpa	714kgf 70MPa	714kgf 70Mpa	714kgf 70Mpa	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件 (kgとNの両方で 表記)	mm kg N	オート テンショナ	オート テンショナ	オート テンショナ	オート テンショナ	オート テンショナ	
動 力 伝 達 装 置	クラッチ又は インチング ペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	—	—	—	—	—	
	走行 クラ ンチ ・ト ラン ス ミ シ ヨ ン 油 圧	主クラッチ型	ブースタ油圧又は クラッチシリンダ油圧	kg/cm ² KPa	—	—	—	—	—
		流体継ぎ 手型	トルコン油圧 (インレット)	kg/cm ² KPa	7.1±0.7 700±70	7.1±0.7 700±70	4.6±1.0 450±100	4.6±1.0 450±100	ハイ [△] ロ スタティック
			ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa	2.7±0.3 260±30	2.7±0.3 260±30	2.6±0.5 250±50	2.6±0.5 250±50	ハイ [△] ロ スタティック
			クラッチ油圧	kg/cm ² KPa	—	—	—	—	—
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)	(75±5) (2200±30)	(75±5) (2200±30)	(80±5) (2000±30)	(80±5) (2000±30)	ハイ [△] ロ スタティック	
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	6.1±1.2 60±12	6.1±1.2 60±12	6.1±1.2 60±12	6.1±1.2 60±12	—	
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	—	—	—	—	—	
		ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチダ油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² KPa (℃) (rpm)	—	—	—	—	—	

※コモンレール最低圧

D6K								
HS-LGP								
DHA								
検 査 基 準 値								
2100±100 750 — (—) (—)								
3.2 315 (通常運転) (最大回転)								
0.35±0.05 0.35±0.05 [冷時]								
3.6 350 (??) (??)								
714kgf 70Mpa								
オート テンション								
—								
—								
ハイト ^o □ スタティック								
ハイト ^o □ スタティック								
—								
ハイト ^o □ スタティック								
—								
—								
—								

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D6N		D6N		D6K	
		仕様		DS-XL	DS-LGP	DS-XL	DS-LGP	HS-XL	
		適用号機		DJA00001～	DJY00001～	MLW00001～	GHS00001～	FBH00001～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト 張り (たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	—	—	—	—	—	
		鉄シユ	張り (たわみ量) 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	35±6 [図3]	35±6 [図3]	45±5 [図3]	45±5 [図3]	35±6 [図3]
			リンクピッチの伸び 測定方法・条件 (図面番号表示)	mm	190 ピン中心間 距離	190 ピン中心間 距離	190 ピン中心間 距離	190 ピン中心間 距離	190 ピン中心間 距離
			履板取付けボルト 締付けトルク 測定方法・条件	kg・m N・m	40.8±7.1 400±70	40.8±7.1 400±70	40.8±7.1 400±70	40.8±7.1 400±70	20.4±2.6 200±25
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 測定方法・条件	床面勾配 1/5 以上	勾配 1/2 で 車両を停止 できること	勾配 1/2 で 車両を停止 できること	勾配 1/2 で 車両を停止 できること	勾配 1/2 で 車両を停止 できること	勾配 1/2 で 車両を停止 できること	
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブル・ドーザ ブレードリフトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	32/2.7 図5	32/2.7 図5	32/2.7 図5	32/2.7 図5	32/2.75 図5	
		ブレードチルトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	13/2.7 [図6]	13/2.7 [図6]	13/2.7 [図6]	13/2.7 [図6]	13/2.75 [図6]	
		リップリフトシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	25/2.7 [図5]	25/2.7 [図5]	25/2.7 [図5]	25/2.7 [図5]	25/2.75 [図5]	
		リップシヤングシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—	
	ドーザ・ ショベル	リフトアームシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—	
		バケットシリンダ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	—	—	—	—	
(作動油温)			(℃)	49-66	49-66	49-66	49-66	49-68	
置 作 業 機 速 度	ブル・ドーザ	ブレード上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	VPAT 2.64±0.2 SU 2.35±0.2 [図7]	2.7±0.2 [図7]	2.0±0.2 [図7]	2.0±0.2 [図7]		
		リップ上げ 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	VPAT 1.46±0.2 SU 0.72±0.2 [図7]	2.8±0.2 [図7]	2.0±0.2 [図7]	2.0±0.2 [図7]		
	ドーザ・ ショベル	リフトアームシリンダ上げ(又は下げ) 作業装置姿勢 (図面番号表示) バケットチルトバック(又はダンピング) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒	—	—	—	—		
(作動油温)			(℃)	65±3	65±3	65±15	65±15	55±10	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm ² kPa	255±4 25000±350	255±4 25000±350	257±5 25210±450	257±5 25210±450	251±5 24650±450	
		(作動油温)	(℃)	65±10	65±10	55±10	55±10	55±10	

D6K								
HS-XL								
DHA								
検 査 基 準 値								
—								
35±6 [図 3]								
190 ピン中心間 距離								
20.4±2.6 200±25								
—								
32/2.75 図 5 13/2.75 [図 6] 25/2.75 [図 5] —								
— —								
49-68								
2.0±0.2 [図 7] 2.0±0.2 [図 7]								
—								
55±10								
251±5 24650±450 55±10								

キャタピラー

図 1. D3K, D4K, D5K, D3K2, D4K2, D5K2 の履帯の張り測定方法

●トラックの張り点検

車両をその全長の 2 倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。

トラックのたるみをストレート・ゲージを使って測定し、適正值であるか点検する。

たるみ量 50～70mm が適正值である

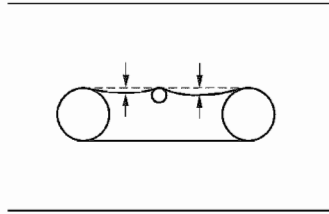


図 2. D3K, D4K, D5K, D3K2, D4K2, D5K2 履帯調整方法

1. 車両をその全長の 2 倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。
2. バルブ・カバーを取外す。(図は開けた状態)
3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ (1) からマルチパーパス・グリース (MPGM) を充填する。トラックを緩める場合、リリース・バルブ (2) を反時計方向に回す。
次に、トラック調整バルブ (1) を 1 回転させて開けて、グリースを逃がす。
その後、リリース・バルブ (2) を閉めてください。
5. バルブ・カバーを閉じる。
6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。

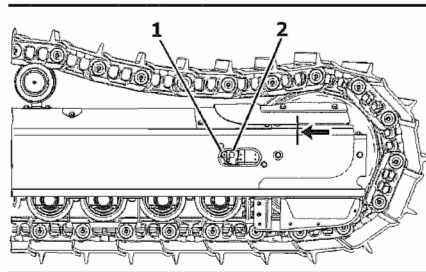
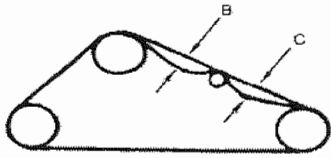


図 3. D6N 履帯の張り測定方法

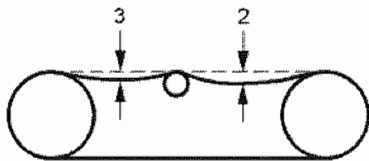


g01118207

DJA00001～、DJY00001～ : B、C とともに 35 ± 6 mm

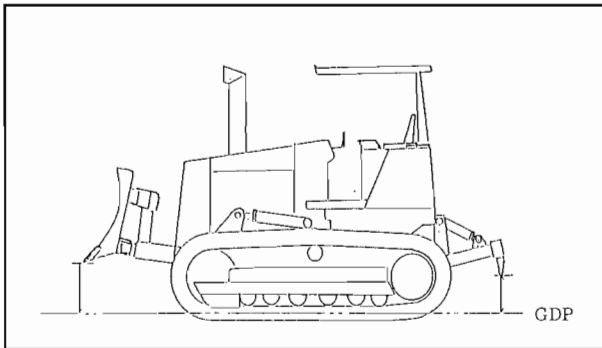
MWL00001～、GHS00001～ : $(B+C) \div 2 = 45 \pm 5$ mm

図 4. D6K 履帯の張り測定方法



$(\text{"2"} + \text{"3"}) \div 2 = 35 \pm 6$ mm

図 5. D6N, D6K
リフトおよびリッパ・シリンダの自然伸縮測定方法



- 1) ハイドロリック・オイル温度を規定値まで上げ、作業装置もしくはリッパを、地面から 254mm 離れるまでリフトし、エンジンを停止する。
- 2) 油温における単位時間内の降下量を測定する。

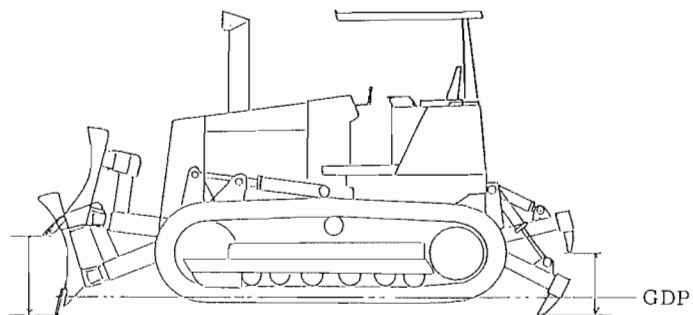
図 6. チルト・シリンダのドリフト試験手順

- 1) ハイドロリック・オイルの温度を規定値まで上げた状態で、チルト・シリンダを完全に収縮する。
- 2) ドーザを下げて地面に押し付け、フロント・アイドラを地面から離し、コントロール・レバーを「保持」位置にしてエンジンを停止。
- 3) 規定時間内でのシリンダのドリフト距離を測定する。

図 7. D6N, D6K
作業機速度測定方法

リフト : リフトを下げ最大位置 (地面) から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。

リッパ : リッパを下げ最大位置 (地面) から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。



コ マ ツ

適用範囲		モデル名	D20A-8E0	D20P-8E0	D20PL-8E0	D20PLL-8E0		
		仕様	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト		
		適用号機	90001	90001	70001	70001		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	min ⁻¹	2645±50	2645±50	2645±50	2645±50	
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	930±25	930±25	930±25	930±25	
		ローアイドルリング	min ⁻¹	—	—	—	—	
		トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	(°C) (°C)	(69~72) (45~55)	(69~72) (45~55)	(69~72) (45~55)	(69~72) (45~55)	
	エンジン油圧	KPa kg/cm ² (°C) (min ⁻¹)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	294~392 3~4 (80~110) (2580)	294~392 3~4 (80~110) (2580)		
	弁すき間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05		
	吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm []	0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 [常温]		
圧縮圧力	KPa kg/cm ² (°C) (min ⁻¹)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	3432±98 35±1 (69~72) (250)	3432±98 35±1 (69~72) (250)			
燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm [N] [kg]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	[]	
動 力 伝 達 装 置	主クラッチ ペダル	ペダル取り付け高さ	cm	17.8	17.8	17.8	17.8	
		ペダルの遊びのストローク	cm	2.0~2.5	2.0~2.5	2.0~2.5	2.0~2.5	
		ペダルの全ストローク	cm	17.6~ 18.617.8	17.6~ 18.617.8	17.6~ 18.617.8	17.6~ 18.617.8	
		主クラッチ型	ブースタ油圧	KPa kg/cm ²	1765~2059 18~21	1765~2059 18~21	1765~2059 18~21	1765~2059 18~21
	ダイレクト シフト型		KPa kg/cm ²	—	—	—	—	
		ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	981 10	981 10	981 10	981 10	
			KPa kg/cm ²	—	—	—	—	
	(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(°C) (min ⁻¹)						
プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35		
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 20.0~27.4	— 20.0~27.4	— 20.0~27.4	— 20.0~27.4	
		ステアリングクラッチ油圧 (油 温)	KPa kg/cm ² (°C)	1961~2255 20~23 (40~60)	1961~2255 20~23 (40~60)	1961~2255 20~23 (40~60)	1961~2255 20~23 (40~60)	

適用範囲		モデル名		D20A-8E0	D20P-8E0	D20PL-8E0	D20PLL-8E0		
		仕様		2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト		
		適用号機		90001	90001	70001	70001		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
走行装置	クローラペルト	ゴムペルト	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	15~20 〔①〕	15~20 〔①〕	15~20 〔①〕	15~20 〔①〕	〔 〕
		鉄シユ	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20~30 〔②〕	20~30 〔②〕	20~30 〔②〕	20~30 〔②〕	〔 〕
	1	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	〔 〕	
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔 〕	
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	- 〔-〕	- 〔-〕	- 〔-〕	- 〔-〕	〔 〕	
作業装置	シリンダ	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	〔 〕
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	〔 〕
			リップリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	- 〔 〕	- 〔 〕	- 〔 〕	- 〔 〕	〔 〕
	自然伸縮			mm					
				mm					
			(作動油温)	(℃)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	
作業機速度	ブルドーザ	ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	〔 〕	
		リップ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	- 〔 〕	- 〔 〕	- 〔 〕	- 〔 〕	〔 〕	
			sec						
			sec						
		(作動油温)	(℃)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)		
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	KPa kg/cm ² (℃)	15200~15887 155~162 (40~60)	15200~15887 155~162 (40~60)	15200~15887 155~162 (40~60)	15200~15887 155~162 (40~60)		

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

コ マ ツ

適用範囲		モデル名	D21A-8E0	D21P-8E0	D21PL-8E0			
		仕様	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト			
		適用号機	90001	90001	70001			
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
デー ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング	min ⁻¹	2645±50	2645±50	2645±50		
		ローアイドルリング	min ⁻¹	930±25	930±25	930±25		
		トルコンストール状態 (冷却水温)	min ⁻¹ (°C)	— (69~72)	— (69~72)	— (69~72)		
		(作動油温)	(°C)	(40~60)	(40~60)	(40~60)		
		エンジン油圧	KPa kg/cm ²	294~392 3~4	294~392 3~4	294~392 3~4		
	(油温)	(°C)	(80~110)	(80~110)	(80~110)			
	(回転速度)	(min ⁻¹)	(2560)	(2560)	(2560)			
	弁すき間							
	吸気弁すき間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05			
	排気弁すき間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05			
[測定条件]	[]	[常温]	[常温]	[常温]				
圧縮圧力	KPa kg/cm ²	3432±98 35±1	3432±98 35±1	3432±98 35±1				
(冷却水温)	(°C)	(69~72)	(69~72)	(69~72)				
(回転速度)	(min ⁻¹)	(250)	(250)	(250)				
燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール			
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm [N] [kg]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	10~15 [98] [10]	[]	[]	
インテ ン ギ ン グ ペ ダ ル	ペダル取り付け高さ	cm						
	ペダルの遊びのストローク	cm						
	ペダルの全ストローク	cm	10.3~11.3	10.3~11.3	10.3~11.3			
動 力 伝 達 装 置	主クラッチ・トランスミッション	主クラッチ型	ブースタ油圧	KPa kg/cm ²				
		ハイドロシフト		KPa kg/cm ²				
		ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	294 3	294 3	294 3		
		クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	2599~2795 26.5~28.5	2599~2795 26.5~28.5	2599~2795 26.5~28.5		
	(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(°C) (min ⁻¹)	(40~60) (2560)	(40~60) (2560)	(40~60) (2560)			
プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N·m kgm	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35			
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ ー	レバー遊びのストローク	cm	—	—	—		
		レバーの全ストローク	cm	20.0~27.4	20.0~27.4	20.0~27.4		
	ステアリングクラッチ油圧	KPa kg/cm ²	2599~2795 26.5~28.5	2599~2795 26.5~28.5	2599~2795 26.5~28.5			
	(油温)	(°C)	(40~60)	(40~60)	(40~60)			

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

適用範囲		モデル名		D21A-8E0	D21P-8E0	D21PL-8E0			
		仕様		2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト			
		適用号機		90001	90001	70001			
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	15~20 〔①〕	15~20 〔①〕	15~20 〔①〕	〔 〕	〔 〕
		鉄	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20~30 〔②〕	20~30 〔②〕	20~30 〔②〕	〔 〕	〔 〕
	シ ユ ー 	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	〔 〕	〔 〕	
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	〔③〕	〔③〕	〔③〕			
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕			
作業装置	シ リ ン ダ 自 然 伸 縮	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	〔 〕	〔 〕
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	〔 〕	〔 〕
			リップリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	〔 〕	〔 〕
			mm						
			mm						
			(作動油温)	(℃)	(40~60)	(40~60)	(40~60)		
作業機速度	ブルドーザ	ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.4 〔⑤〕	1.4 〔⑤〕	1.4 〔⑤〕	〔 〕	〔 〕	
		リップ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	〔 〕	〔 〕	
			sec						
				sec					
		(作動油温)	(℃)	(40~60)	(40~60)	(40~60)			
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 〔作動油温〕	KPa kg/cm ² (℃)	15200~15887 155~162 (40~60)	15200~15887 155~162 (40~60)	15200~15887 155~162 (40~60)			

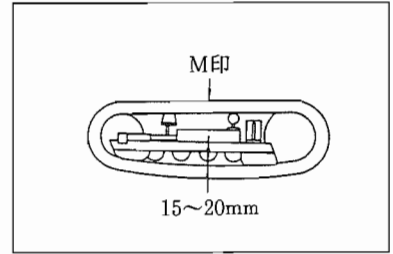
モデル名	D20A-8E0	D20P-8E0	D20PL-8E0	D20PLL-8E0	D21A-8E0
------	----------	----------	-----------	------------	----------

①

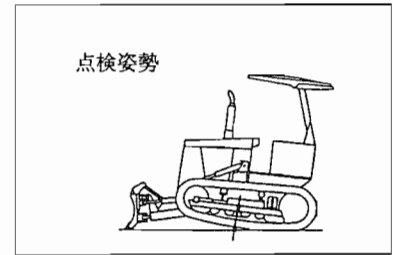
■ 点 検

▲ 警 告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。



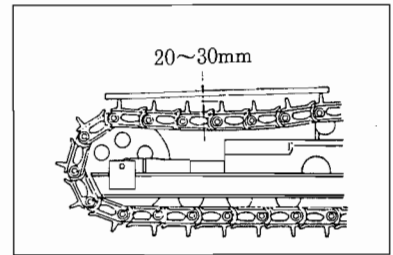
ゴムシューの継目部 (M印) を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面と履帯のローラ転動面とのスキマが15~20mmあれば標準です。
25mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。



②

■ 点 検

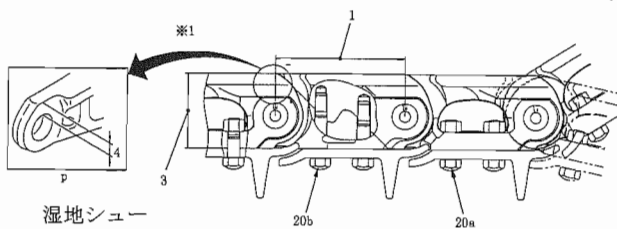
平地に車を止め (前進でブレーキをかけないで止まる) まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロウサとの間が中央で20~30mmあれば標準の張りです。
標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。



③

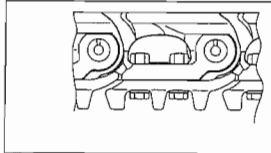
オイル封入履帯

シングル履帯

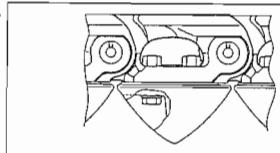


湿地シュー

※2



※3

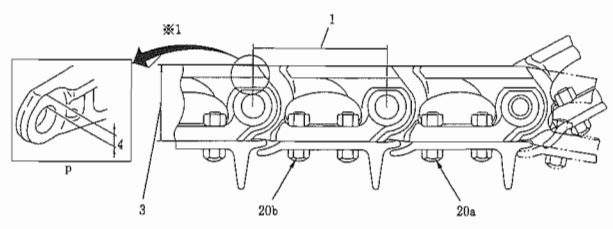


No.	項 目	判 定 基 準	
		基本寸法	許容限度
1	リンクピッチ	135.25	138.2
13	レギュラボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm (7 ± 1 kgm). 増締角: 90 ± 10°	
14	マスタボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm (7 ± 1 kgm). 増締角: 180 ± 10°	

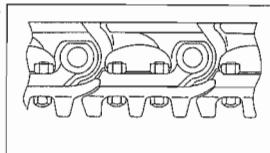
③

乾式履帯

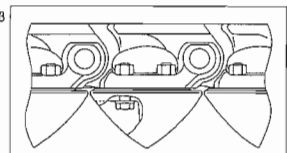
シングル履帯



※2



※3



No.	項 目	判 定 基 準	
		基本寸法	許容限度
1	リンクピッチ	135.25	-
15	シューボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm (7 ± 1 kgm). 増締角: 90 ± 10°	

コ マ ツ

適用範囲		モデル名	D31EX-22	D31PX-22	D37EX-22	D37PX-22	
		仕様	パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	
		適用号機	60001～	60001～	60001～	60001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
データ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	min ⁻¹	2350～2450	2350～2450	2350～2450	2350～2450
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	950～1000	950～1000	950～1000	950～1000
		ローアイドルリング	min ⁻¹	—	—	—	—
		トルコンストール状態 (冷却水温)	(℃)	(75～94)	(75～94)	(75～94)	(75～94)
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
	エンジン油圧		KPa	490～690	490～690	490～690	490～690
		(油温)	kg/cm ²	5.0～7.0	5.0～7.0	5.0～7.0	5.0～7.0
	弁すき間		(℃)	(90～110)	(90～110)	(90～110)	(90～110)
		(回転速度)	(min ⁻¹)	(2400)	(2400)	(2400)	(2400)
		吸気弁 スキ間	mm	0.35	0.35	0.35	0.35
排気弁 スキ間	mm	0.50	0.50	0.50	0.50		
[測定条件]	[]	[常温]	[常温]	[常温]	[常温]		
圧縮圧力		KPa	2900	2900	2900	2900	
	(冷却水温)	kg/cm ²	30.0	30.0	30.0	30.0	
(回転速度)	(℃)	(75～94)	(75～94)	(75～94)	(75～94)		
(回転速度)	(min ⁻¹)	(320～360)	(320～360)	(320～360)	(320～360)		
燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm	—	—	—	—	
		[N]	[—]	[—]	[—]	[—]	
		[kg]	[—]	[—]	[—]	[—]	
動力 伝 達 装 置	インチャング ペダル	ペダル取り付け高さ	cm	—	—	—	—
		ペダルの遊びのストローク	cm	—	—	—	—
		ペダルの全ストローク	cm	HST	HST	HST	HST
	トランス ミッション		KPa	—	—	—	—
			kg/cm ²	—	—	—	—
		ミッション潤滑油圧	KPa	HST	HST	HST	HST
		クラッチ油圧	kg/cm ²	HST	HST	HST	HST
		(ミッション油温)	(℃)	HST	HST	HST	HST
		(エンジン回転速度)	(min ⁻¹)	HST	HST	HST	HST
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m	HST	HST	HST	HST
		kgm	HST	HST	HST	HST	
ステア リング 装置	レバー	レバー遊びのストローク	cm	—	—	—	—
		レバーの全ストローク	cm	4.0～6.0	4.0～6.0	4.0～6.0	4.0～6.0
	ステアリングクラッチ油圧	KPa	HST	HST	HST	HST	
	(油温)	kg/cm ²	HST	HST	HST	HST	
		(℃)	HST	HST	HST	HST	

適用範囲		モデル名		D31EX-22	D31PX-22	D37EX-22	D37PX-22		
		仕様		パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト		
		適用号機		60001～	60001～	60001～	60001～		
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値					
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	〔 〕
		鉄シユ	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	〔 〕
	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕		mm	157.3(154.3) 〔③〕	157.3(154.3) 〔③〕	157.3(154.3) 〔③〕	157.3(154.3) 〔③〕	〔 〕	
	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕		N・m kg・m	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔 〕	
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	〔 〕	
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	〔 〕
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	〔 〕
			リップリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	〔 〕
	ドーザ ショベル	ブルドーザ	リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	〔 〕
			バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	〔 〕
			(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	〔 〕
作業 機 速 度	ブルドーザ	ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.7～2.1 〔⑥〕	1.7～2.1 〔⑥〕	1.7～2.1 〔⑥〕	1.7～2.1 〔⑥〕	〔 〕	
		リップ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	〔 〕	
	ドーザ ショベル	リフトアーム上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	〔 〕	
		バケットチルトバック 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	— 〔 〕	〔 〕	
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	〔 〕	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	KPa kg/cm ² (℃)	26460～28420 271～290 (40～60)	26460～28420 271～290 (40～60)	26460～28420 271～290 (40～60)	26460～28420 271～290 (40～60)	〔 〕	

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

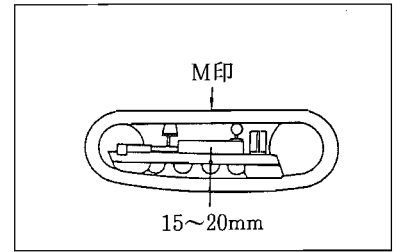
モデル名	D31EX-22	D31PX-22	D37EX-22	D37PX-22
------	----------	----------	----------	----------

①

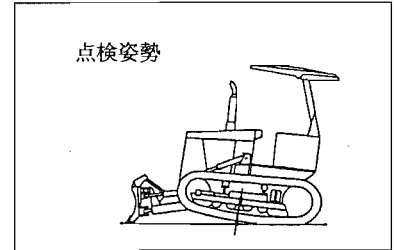
■ 点検

▲ 警告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。



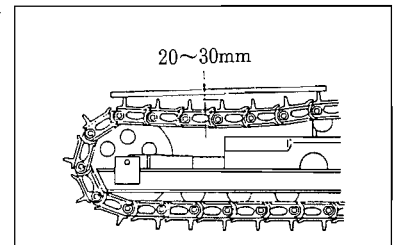
ゴムシューの継目部 (M印) を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面と履帯のローラ転動面とのスキマが20~30mmあれば標準です。
35mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。



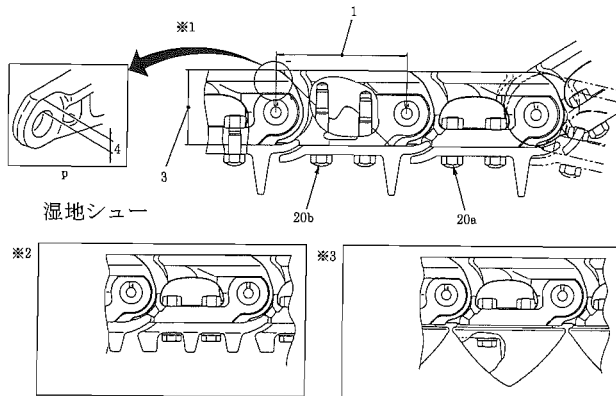
②

■ 点検

平地に車を止め (前進でブレーキをかけないで止まる) まっすぐな棒を図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロウサとの間が中央で20~30mmあれば標準の張りです。
標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。



③ オイル封入履帯



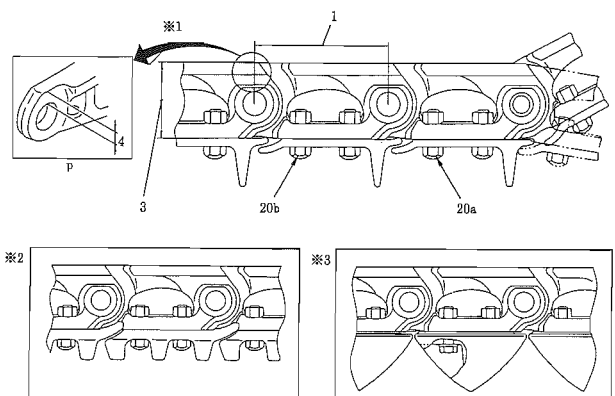
湿地シュー

※2

※3

★P部はブッシュ圧入側リンクを示す。 ※2 トリプル履帯 (D31S, Q-20 用)
※1 シングル履帯 ※3 湿地履帯

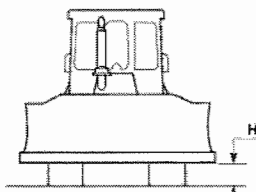
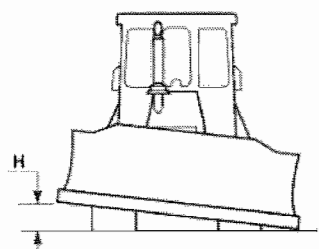
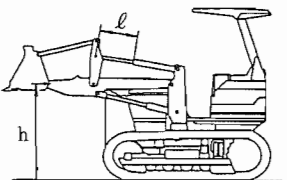
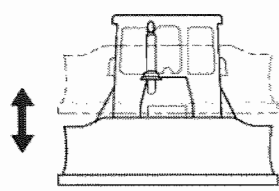
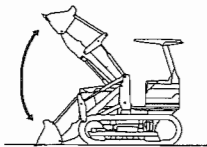
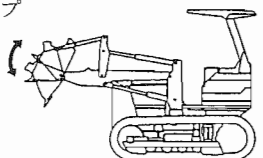
乾式履帯



★P部はブッシュ圧入側リンクを示す。 ※2 トリプル履帯 (D31S, Q-20 用)
※1 シングル履帯 ※3 湿地履帯

No.	項目	判定基準			
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度		
		154.25	157.25		
20	シュー	縮め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)		
		147.1 ± 19.6 {15 ± 2}	60 ± 10		
	ボルト	縮め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	下限トルク (Nm {kgm})	
		147 ± 19.6 {15 ± 2}	180 ± 10	255 {26}	

No.	項目	判定基準			
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度		
		154.25	157.25		
20	シュー	縮め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)		
		147.1 ± 19.6 {15 ± 2}	60 ± 10		
	ボルト	縮め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	下限トルク (Nm {kgm})	
		—	—	—	

項目		測定条件		単位	新基準値	車値	故障判定基準値
④	ブレード		★ブレード地上から 300mm	mm	100	—	—
	ブレードチルト (チルト時本体降下量)		★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっぱい上げる ・上記の姿勢からブレードの降下量 h を測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する		100	—	
	バケット リフトアーム		★リフトアーム上面、バケット底部水平 ・上記の姿勢からダンブシリンダの伸び量 l およびバケットヒンジピンの降下量 h を測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する	mm	100	—	
	バケット		★リフトアーム上面、バケット底部水平 ・上記の姿勢からダンブシリンダの伸び量 l およびバケットヒンジピンの降下量 h を測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する		10	—	
⑥	ブレード ・接地 ⇕ 上昇限	リフト 		上げ 秒	2.1	—	
	バケット ・接地 上昇限 ・ダンブ限 ・チルトバック限	リフト  ダンブ 	★リフトアーム上面水平 ・水平・平坦地 ・エンジンフル ・作動油温：40～60℃	上げ 秒 チルトバック	5.9	—	

コ マ ツ

適用範囲		モデル名	D39EX-22	D39PX-22	D51EX-22	D51PX-22	
		仕様	ハワアソグ ^ル ハワチルト	ハワアソグ ^ル ハワチルト	ハワアソグ ^ル ハワチルト	ハワアソグ ^ル ハワチルト	
		適用号機	3001~	3001~	B10001~	B10001~	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値			
デ イ ー ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	min ⁻¹	2350~2450	2350~2450	2220~2320	2220~2320
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	950~1000	950~1000	825~875	825~875
		ローアイドルリング	min ⁻¹	—	—	—	—
		トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	(℃) (℃)	(75~94) (40~60)	(75~94) (40~60)	(75~94) (40~60)	(75~94) (40~60)
	エンジン油圧	KPa kg/cm ²	490~690 5.0~7.0	490~690 5.0~7.0	294以上 3.0以上	294以上 3.0以上	
	(油温) (回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	(90~110) (2400)	(90~110) (2400)	(80~110) (2060)	(80~110) (2060)	
	弁すき間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	
	吸気弁 すき間 排気弁 すき間 [測定条件]	mm []	0.51 [常温]	0.51 [常温]	0.51 [常温]	0.51 [常温]	
	圧縮圧力	KPa kg/cm ²	2410 24.6	2410 24.6	2410 24.6	2410 24.6	
	(冷却水温) (回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	(75~94) (250~280)	(75~94) (250~280)	(75~94) (250~280)	(75~94) (250~280)	
燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件	mm kg N	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	
動 力 伝 達 装 置	インチャング ペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	— — HST	— — HST	— — HST	— — HST
	トランスミッション		KPa kg/cm ²				
		ハイドロ シフト型	KPa kg/cm ²				
		ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	HST	HST	HST	HST
		クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	HST	HST	HST	HST
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	HST	HST	HST	HST
プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	HST	HST	HST	HST	
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 4.0~6.0	— 4.0~6.0	— 4.0~6.0	— 4.0~6.0
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (℃)	HST	HST	HST	HST

適用範囲		モデル名		D39EX-22	D39PX-22	D51EX-22	D51PX-22		
		仕様		ハ°ワ-アングル ハ°ワ-チルト	ハ°ワ-アングル ハ°ワ-チルト	ハ°ワ-アングル ハ°ワ-チルト	ハ°ワ-アングル ハ°ワ-チルト		
		適用号機		3001~	3001~	B10001~	B10001~		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- -	- 〔 - 〕	〔 〕
		鉄	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20~30 〔 ① 〕	20~30 〔 ① 〕	20~30 ①	20~30 〔 ① 〕	〔 〕
	シ	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	174.7 (171.7) 〔 ② 〕	174.7 (171.7) 〔 ② 〕	178.3 (175.3) ②	178.3 (175.3) 〔 ② 〕	〔 〕	
	ユ	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m						
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	- 〔 ③ 〕	- 〔 ③ 〕	- 〔 ③ 〕	- 〔 ③ 〕		
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 以下 〔 ④ 〕	50 以下 〔 ④ 〕	50 以下 ④	50 以下 〔 ④ 〕	〔 〕
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 以下 〔 ④ 〕	100 以下 〔 ④ 〕	100 以下 ④	100 以下 〔 ④ 〕	〔 〕
			リップリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	- 〔 〕	- 〔 〕	-	- 〔 〕	〔 〕
				mm					
		(作動油温)	(°C)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)		
作業機速度	ブルドーザ	ブレード上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.9±0.2 〔 ⑤ 〕	1.9±0.2 〔 ⑤ 〕	2.5±0.2 ⑤	2.5±0.2 〔 ⑤ 〕	〔 〕	
		リップ上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	- 〔 〕	- 〔 〕	-	- 〔 〕	〔 〕	
			sec						
				sec					
		(作動油温)	(°C)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)		
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	KPa kg/cm ² (°C)	27440±980 280±10 (40~60)	27440±980 280±10 (40~60)	27440±980 280±10 (40~60)	27440±980 280±10 (40~60)		

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

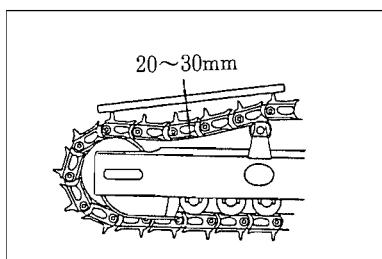
モデル名	D39EX-22	D39PX-22	D51EX-22	D51PX-22
------	----------	----------	----------	----------

①

■ 点 検

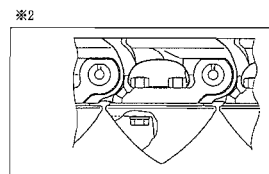
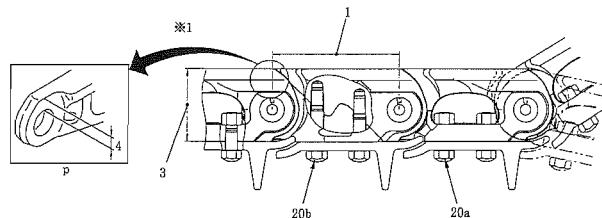
平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、次のように調整してください。



②

オイル封入履帯



★ P 部はプッシュ圧入側リンクを示す。
 ※1 シングルシュー
 ※2 湿地シュー（D41P, PF-6 用）

No.	項目	判定基準		
		基本寸法		許容限度
1	リンクピッチ	171.7		174.7
		196.1±19.6{20±2}		120±10
20	a. レギュラリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	
		196.1±19.6{20±2}	120±10	
	b. マスタリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	下限トルク (Nm {kgm})
		196.1±19.6{20±2}	180±10	

③ ブレーキ性能チェック

▲ 警 告

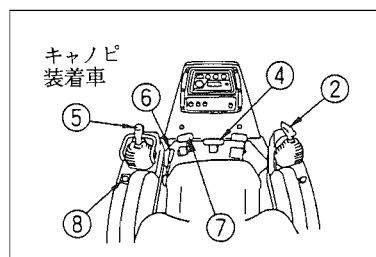
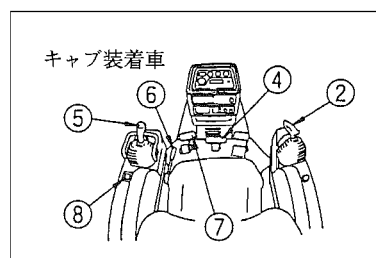
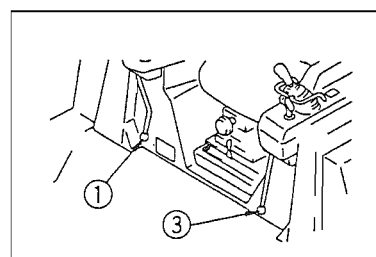
以下の操作で動いたときは、すぐに当社または当社販売サービス店へ修理を依頼してください。

重 要

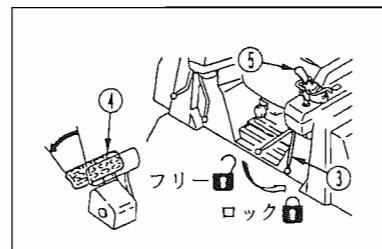
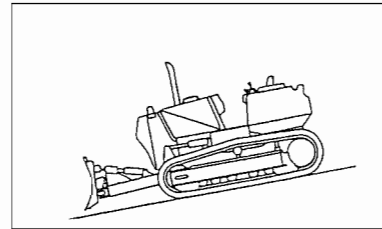
変速レバーは 1 速には絶対に入れてはいけません。車両損傷の原因となります。

エンジンの始動前に車両の回りの安全を確認してからつぎの操作を行ってください。

- ① インチングペダル ⑦をいっばいに踏込んでください。
- ② エンジンを始動させてください。
- ③ 安全ロックレバー①をフリーにして、ブレード操作レバー②を操作してブレードを上げてください。
安全ロックレバーは、フリーの位置のままにしておいてください。
- ④ パーキングレバー ③をフリーにしてください。
- ⑤ 燃料調整レバー ⑥を操作して、ローアイドルリングとフル回転の中間位置まで引いてください。

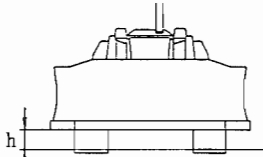
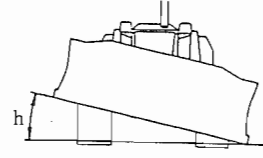
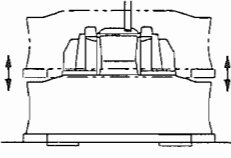


- ⑥ ブレーキペダル④を踏み、変速レバー⑤を2速に入れて、速度段表示窓⑧の表示が2速になっていることを確認してから、前進側に倒してください。
- ⑦ ブレーキペダル④を踏込んだままでインチャングペダル⑦をゆっくりもどしてください。
- ⑧ 上記操作でエンジンが停止して車両が動かなければブレーキは正常です。
- ⑨ 次にパーキングブレーキの点検をします。
車両を坂道で前下りの位置になる様に移動してください。
- ⑩ 坂道でエンジンをかけたまま、ブレーキペダル④を踏み前後進レバー⑤を中立に戻し、車両を停止します。
- ⑪ パーキングレバー③を、ロック位置とします。
ブレーキペダル④を離して車両が動かなければ、パーキングブレーキは正常です。
- ⑫ 万一車両が動いた時は、パーキングレバー③をフリーの位置にしてブレーキペダル④を踏み込んでください。



重 要

パーキングレバー③をフリーの位置にしないと、ブレーキペダルが効きません。

項 目	測 定 条 件	単 位	新 基 準 値	故 障 判 定 基 準 値
④ リフト自然降下量	<ul style="list-style-type: none"> ・作業機姿勢 ・エンジン停止 ・作動油温：45～55℃ ・ブレード中刃を300mm上昇させた位置からの15分間の降下量 (h) 	mm/15分	50 以下	←
チルト自然降下量	<ul style="list-style-type: none"> ・作業機姿勢 ・エンジン停止 ・作動油温：45～55℃ ・ブレードを最大チルトさせて接地した位置からの15分間の降下量 (h) 	mm/15分	100 以下	←
⑤ ブレード上昇速度	<ul style="list-style-type: none"> ・作業機姿勢 ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ ・ブレード無負荷 ・ブレード接地ー最大上げ間の所要時間 	上げ 秒	1.9±0.2	2.5

コマツ

適用範囲		モデル名	D61EX-15E0	D61PX-15E0	D65EX-16	D65PX-16	
		仕様	ストレートチルト, HSSステアリング	ストレートチルト, HSSステアリング	ストレートチルト, HSSステアリング*	ストレートチルト, HSSステアリング*	
		適用号機	B45001	B45001	80001~	80001~	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング	min ⁻¹	2000±50	2000±50	2100±50	2100±50
		ローアイドルリング	min ⁻¹	915±25	915±25	825±25	825±25
		トルコンストール状態 (冷却水温)	min ⁻¹ (°C)	1620±100 (75~94)	1620±100 (75~94)	1770±100 (69~81)	1770±100 (69~81)
		(作動油温)	(°C)	(40~60)	(40~60)	(45~55)	(45~55)
	エンジン油圧	KPa kg/cm ²	294~490 3~5	294~490 3~5	340~590 3.5~6.0	340~590 3.5~6.0	
	(油温)	(°C)	(80~110)	(80~110)	(80~110)	(80~110)	
	(回転速度)	(min ⁻¹)	(2000)	(2000)	(1950)	(1950)	
	弁すき間						
	吸気弁 すき間	mm	0.25	0.25	0.305	0.305	
	排気弁 すき間	mm	0.51	0.51	0.559	0.559	
[測定条件]	[]	[常温]	[常温]	[常温]	[常温]		
圧縮圧力	KPa kg/cm ²	2410 24.6	2410 24.6	2600 26.5	2600 26.5		
(冷却水温)	(°C)	(75~94)	(75~94)	(70~85)	(70~85)		
(回転速度)	(min ⁻¹)	(250~280)	(250~280)	(170)	(170)		
燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm [kg N]	油圧駆動	油圧駆動	油圧駆動	油圧駆動	
動力伝達装置	トランスミッション		cm cm cm				
		流体継ぎ手型	KPa kg/cm ²				
		トルコン油圧	KPa kg/cm ²	880 以下 9 以下	880 以下 9 以下	980 10	980 10
		ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	90~290 0.9~3.0	90~290 0.9~3.0	50~250 0.5~2.5	50~250 0.5~2.5
	クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	2840~3080 29~31	2840~3080 29~31	2890±150 29.5±1.5	2890±150 29.5±1.5	
	(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(°C) (min ⁻¹)	(70~80) (2000)	(70~80) (2000)	(70~80) (2100)	(70~80) (2100)	
プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	110.25±12.5 11.25±1.25	110.25±12.5 11.25±1.25	98.1~123 10.0~12.5	98.1~123 10.0~12.5	
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	3 4.0±1.5	3 4.0±1.5	3 2.5~5.5	3 2.5~5.5
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (°C)	HSS モータ	HSS モータ	HSS モータ	HSS モータ

適用範囲		モデル名		D61EX-15E0	D61PX-15E0	D65EX-16	D65PX-16		
		仕様		ストレートチルト, HSSステアリング	ストレートチルト, HSSステアリング	ストレートチルト, HSSステアリング	ストレートチルト, HSSステアリング		
		適用号機		B45001	B45001	80001	80001		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	
		鉄シユ	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20~30 〔①〕	20~30 〔①〕	20~30 〔①〕	20~30 〔①〕	
		リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	193.3(190.3) 〔②〕	193.3(190.3) 〔②〕	206.45(203.45) 〔②〕	206.45(203.45) 〔②〕		
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	〔②〕	〔②〕	〔②〕	〔②〕		
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔③〕	— 〔③〕	— 〔③〕	— 〔③〕		
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 以下 〔④〕	100 以下 〔④〕	70 〔④〕	70 〔④〕	
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	200 以下 〔④〕	200 以下 〔④〕	70 〔④〕	70 〔④〕	
			リップリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 以下 〔④〕	50 以下 〔④〕	70 〔④〕	70 〔④〕	
				mm					
		(作動油温)	(℃)	(45~55)	(45~55)	(45~55)	(45~55)		
作業機速度	ブルドーザ	ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.5±0.2 〔⑤〕	2.5±0.2 〔⑤〕	2.5±0.3 〔⑤〕	2.5±0.3 〔⑤〕		
		リップ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.4±0.2 〔⑥〕	1.4±0.2 〔⑥〕	1.5±0.5 〔⑥〕	1.5±0.5 〔⑥〕		
			sec						
		(作動油温)	(℃)	(45~55)	(45~55)	(45~55)	(45~55)		
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	KPa kg/cm ² (℃)	20594±981 210±10 (45~55)	20594±981 210±10 (45~55)	29400~ 32800 300~335 (45~55)	29400~ 32800 300~335 (45~55)		

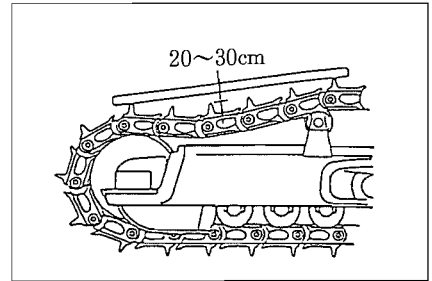
★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

コマツ

モデル名	D61EX-15E0	D61PX-15E0	D65EX-16	D65PX-16
------	------------	------------	----------	----------

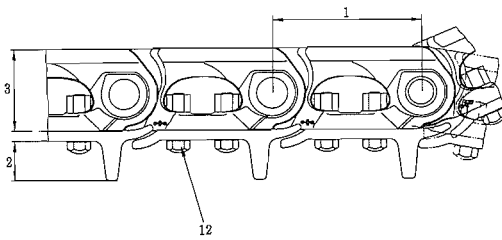
① ■ 点検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロウサとの間が中央で 20~30mm あれば標準の張りです。標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。



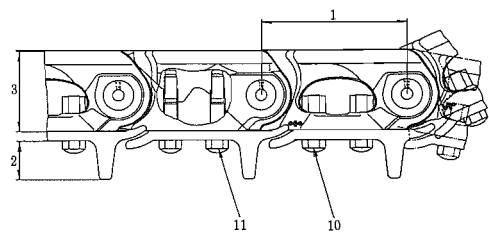
②

乾式履帯

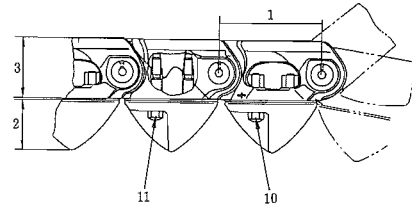
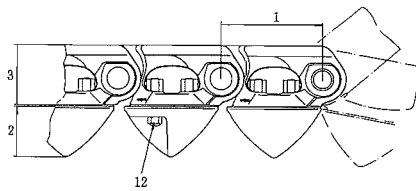


湿地履帯

オイル封入式履帯



湿地履帯



1	リンクピッチ	基本寸法	修理可能限度	反転または交換
		203.45	206.45	
12	シューボルト締付トルク	初期締付トルク	増締め角	増締めまたは交換
		55±5 kgm	120±10°	

1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度		反転または交換
		203.45	206.45		
10	レギュラシューボルト締付トルク	初期締付トルク	増締め	下限トルク	増締めまたは交換
		55±5 kgm	120±10°	—	
11	マスタリンク締付ボルト締付トルク	35±4 kgm	180 ⁰ / ₋₂₀ °	80kgm	

③ ■ D65EX, PX-15 の場合

▲ 警告

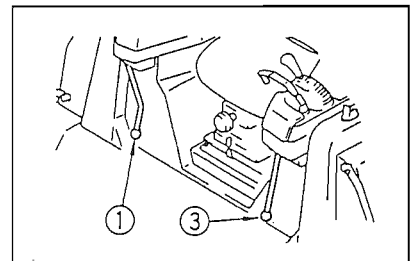
以下の操作で動いたときは、すぐに当社または当社販売サービス店へ修理を依頼してください。

重要

変速レバーは1速には絶対に入れてはいけません。車両損傷の原因となります。

エンジンの始動前に車両の回りの安全を確認してからつぎの操作を行ってください。

① エンジンを始動させてください。



② セフティレバー①をフリーにして、ブレード操作レバー②を操作してブレードを上げてください。

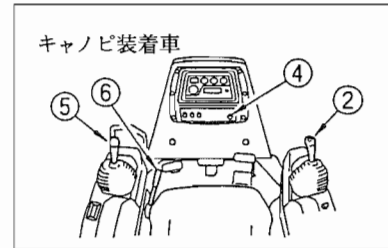
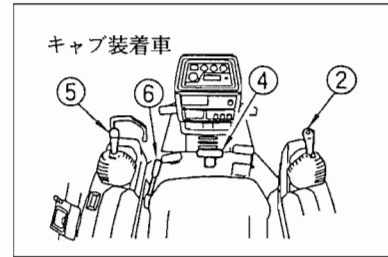
セフティレバーは、フリーの位置のままにしておいてください。

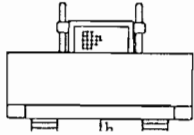
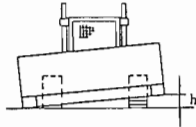
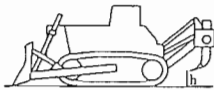
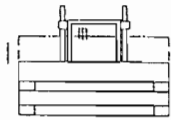
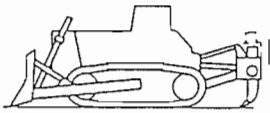
③ パーキングレバー③をフリーにしてください。

④ ブレーキペダル④を踏み、変速レバー⑤を 2 速に入れてください。

⑤ 燃料調整レバー⑥を操作して、エンジン回転をフル回転まで徐々に上げてください。

⑥ 上記操作で車両が動かなければブレーキは正常です。



項目		測定条件		単位	新基準値	故障判定基準値
④ 自然 降 下 量	ブレードリフト	<ul style="list-style-type: none"> 作業機姿勢  <ul style="list-style-type: none"> 作動油温：45～55℃ エンジン停止 ブレード中刃地上 800mm からの降下量 			100 以下	—
	ブレードチルト	<ul style="list-style-type: none"> 作業機姿勢  <ul style="list-style-type: none"> 作動油温：45～55℃ エンジンスロー ブレード刃先の降下量 	左チルト	mm/ 15min	200 以下	—
			右チルト		200 以下	—
	リップリフト (OP)	<ul style="list-style-type: none"> 作業機姿勢  <ul style="list-style-type: none"> 作動油温：45～55℃ エンジン停止 ブレード下限地上 500mm から 			—	—
⑤ 作業 機 速 度	ブレード (リフト)	<ul style="list-style-type: none"> 作業機姿勢  <ul style="list-style-type: none"> エンジンフル 作動油温：45～55℃ ブレード：無負荷 地上～上昇限 	上げ	sec	2.4 ^{+0.2} _{-0.5}	2.5
	⑥ リップ (OP)	<ul style="list-style-type: none"> 作業機姿勢  <ul style="list-style-type: none"> 作動油温：45～55℃ シャンク穴最下段 地上～上昇限 	上 エンジン 上げ エンジン	sec	—	—
					—	—
					—	—

ブル・ドーザ検査・整備基準値表

平成 10 年 9 月	初版発行
平成 16 年 3 月	改訂 A 版発行
平成 20 年 3 月	改訂 B 版発行
平成 25 年 3 月	C 版発行

発行 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号
(ニュー九段ビル 9 階)

電話 03-3221-3661

FAX 03-3221-3665

URL <http://www.sacl.or.jp>
